

第14回協会賞 普及賞

■受賞者と受賞理由

□チュリス西麻布耐震改修工事

チュリス西麻布管理組合

分譲マンションの免震改修は区分所有者の3/4以上の決議や、多額の費用が必要であることから合意形成が困難である場合が多いが、本建物は免震改修が成功裏に実施された極めて稀な事例であり、普及賞に値する。

□石燈籠の免震改修 — 靖國神社大灯籠 —

清水建設株式会社

靖國神社の2基の大灯籠は東日本大震災時に大きく揺動し、部分的な破損も生じた。参拝者の安全確保を第一に、歴史的価値を損なわないため外観保存に配慮し、損傷防止を目指す耐震改修として免震改修を採用したことは普及賞に値する。

□高崎市総合保健センター 高崎市立中央図書館

医療保健センター（仮称）・新図書館建設事業グループ

機能の異なる施設を複合化して建設する計画に対し、免震構造を採用することによって、耐震性を確保し、公共施設として災害拠点となるように計画されている。同種の施設に対するプロットタイプとなるもので普及賞に値する。

□地下空洞直上に建つ市庁舎の免震レトロフィット

裾野市役所

支持地盤の溶岩層に地下空洞が存在する本庁舎は、免震改修を行うとともに地下空洞を充填することで耐震安全性を向上させた。計画から施工まで審査委員会を設けた慎重な活動は、類似のプロジェクトに対して模範的であり、普及賞に値する。

□ヨーロッパハウス

大成建設株式会社

本建物は事業主の駐日欧州連合代表部が大使館機能を有するため、大地震後も機能維持できるように免震構造を採用した。国内では地震に慣れていない職員の不安を取り除き、海外地震国への赴任の際には日本の免震技術をアピールする可能性があり、普及賞に値する。